



8/20 総合教育会議

小中学校配置最適化について

小松市教育委員会事務局 教育庶務課

小中学校配置最適化について①

本市を取り巻く教育環境の変化



【人口の推移等】

●本市の総人口は昭和49年に10万人を超え、平成17年に109,883人でピークを迎えました。一方、15歳未満人口は昭和55年の25,998人から減少を続け、令和5年には13,177人と半減しています(総人口の12.4%)。

※出典『こまつ人口レポート』

●また、昭和30～50年代にかけて、多くの学校が建設されました。

【教育を取り巻く現況】

●社会の変化に伴い、学校にもさまざまな変化と課題が生じています。すべての子どもの可能性を引き出し、持続可能な社会の担い手を育てるため、小中一貫教育や地域との協働、ICT活用、英語教育の充実などに取り組んでいます。

●一方で、教員の多忙化は深刻な課題となっています。

【今後】

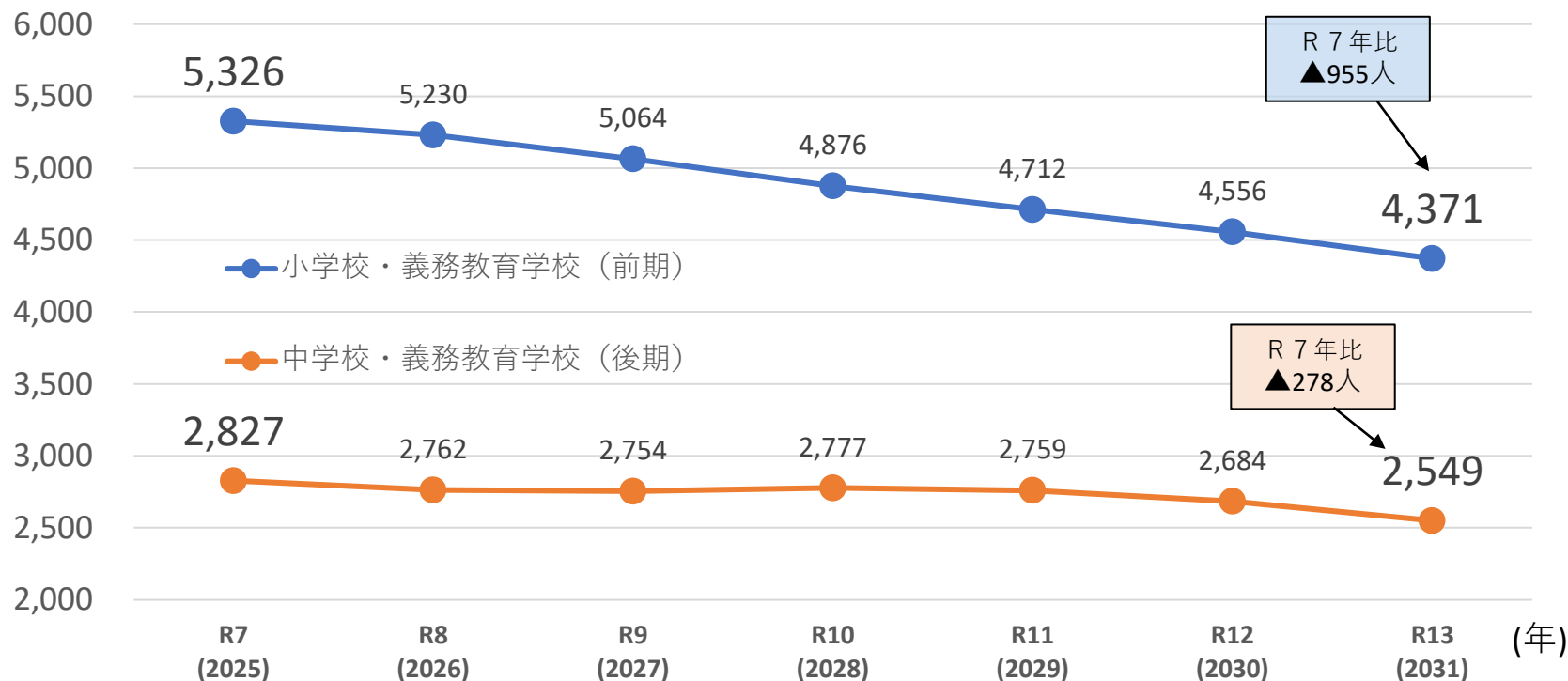
●老朽化した学校施設の増加や、地域による児童・生徒数のさらなる減少が見込まれる中、教育内容や社会の変化に十分対応できなくなる恐れがあります。

●子どもたちが平等に質の高い教育を受けられるよう、将来の学校のあり方について検討を進めていきます。

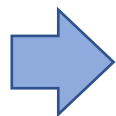
小中学校配置最適化について②

今後、児童生徒数はさらに減少傾向

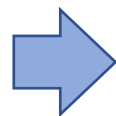
小松市立小中・義務教育学校の児童生徒数の推移 (人)



平成元年
小学生 8,537人
中学生 5,494人



令和7年
小学生 5,326人
中学生 2,827人



令和13年(見込)
小学生 4,371人
中学生 2,549人

少子・超高齢化社会の進行に伴い、市内の児童生徒数は平成元年(1989年)から令和7年(2025年)の36年間で大きく減少しています。現在の0歳児が小学生となる令和13年には、令和7年と比較して、**小学生約18%、中学生約10%の児童生徒数が減少する**と見込まれています。

小中学校配置最適化について③

各小中学校 学級数の推移(令和7年度・令和13年度比較)

小学校名	学級数		差引
	R7	R13	
第一小	22	19	△ 3
苗代小	18	18	0
芦城小	17	12	△ 5
稚松小	12	12	0
今江小	12	12	0
符津小	12	13	1
矢田野小	12	9	△ 3
安宅小	10	11	1
国府小	10	7	△ 3
向本折小	9	9	0
能美小	9	8	△ 1
串小	8	6	△ 2
月津小	7	6	△ 1
犬丸小	6	6	0
荒屋小	6	6	0
蓮代寺小	6	6	0
日末小	6	6	0
栗津小	6	6	0
木場小	6	4	△ 2
中海小	6	6	0
東陵小	6	6	0
松東みどり学園 (前期課程)	6	4	△ 2
那谷小	3	3	0
計	215	195	△ 20

中学校名	学級数		差引
	R7	R13	
松陽中	16	18	2
芦城中	14	14	0
南部中	13	15	2
丸内中	9	10	1
津中	9	8	△ 1
御幸中	6	6	0
国府中	6	4	△ 2
安宅中	6	4	△ 2
中海中	4	3	△ 1
松東みどり学園 (後期課程)	3	3	0
計	86	85	△ 1

■ 小規模校

■ 大規模校

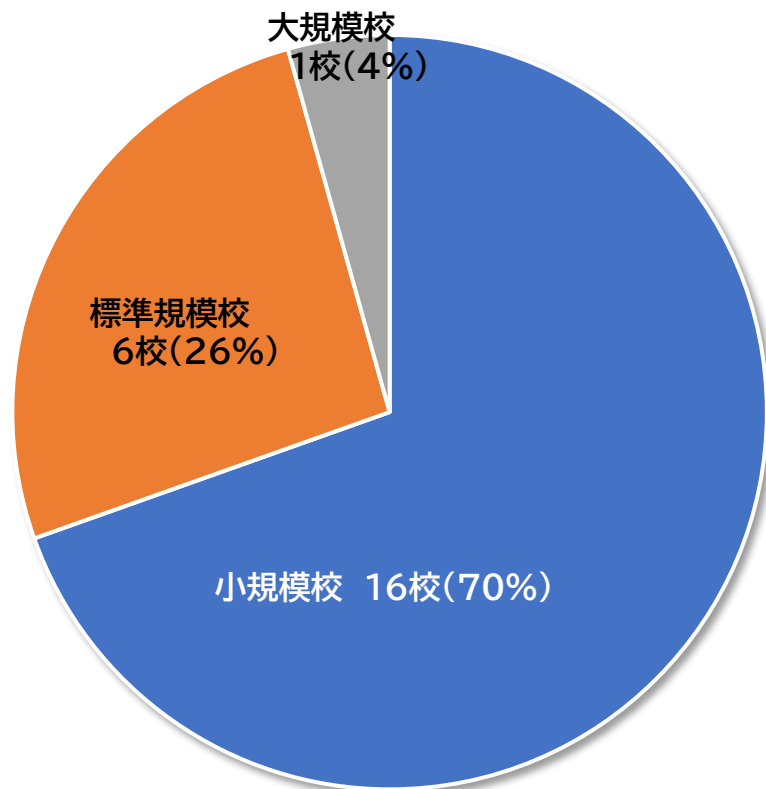
■ 学校教育法施行規則

学級数は12学級以上18学級以下を標準とする。
ただし、地域の実態その他により特別の事情のあるときは、この限りでない。(小中学校とも)

小中学校配置最適化について④

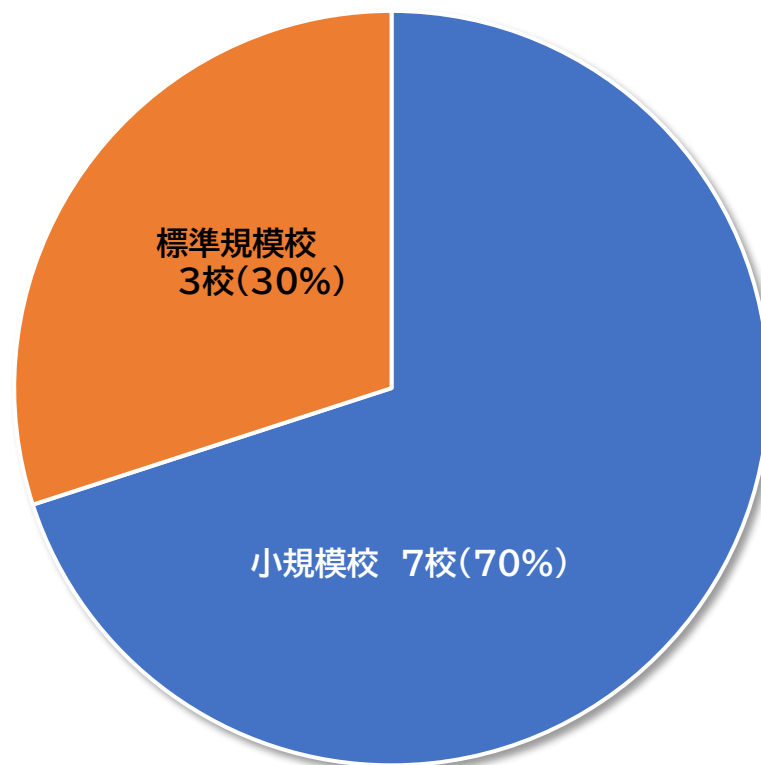
令和7年度 市内小中学校の70%が「小規模校」

小学校の規模



■ 11学級以下 ■ 12～18学級 ■ 19学級以上

中学校の規模



■ 11学級以下 ■ 12学級～18学級

令和7年度現在、小学校・中学校ともに、**11学級以下の「小規模校」が全体の70%を占めています。**

小中学校配置最適化について⑤

小規模校・大規模校のメリット・デメリットについて

【参考資料】

公立小学校 中学校の適正規模・適正配置に関する
手引より(文科省)

	小規模校	大規模校
メリット	【学習面】 ○児童生徒一人ひとりに目が届きやすく、きめ細やかな指導が行いやすい 【生活面】 ○児童生徒相互の人間関係が深まりやすく、異学年間の縦の交流が生まれやすい 【学校運営面】 ○教職員の意思疎通が図りやすい ○保護者と地域社会が連携しやすい	【学習面】 ○専門教員による指導など多様な学習形態・指導形態がとりやすい 【生活面】 ○豊かな人間関係の構築や多様な集団の形成が図られやすい 【学校運営面】 ○教職員のバランスの取れた配置が行いやすい ○PTA活動等保護者の負担が分散される
デメリット	【学習面】 ○多様な考え方や互いに切磋琢磨す機会が少ない ○学校行事や集団活動で制約が生じる 【生活面】 ○人間関係や相互の評価等が固定化しやすく、多様な集団が形成されにくい 【学校運営面】 ○教職員のバランスのとれた配置が行いにくい	【学習面】 ○一人ひとりの把握が難しく、きめ細やかな指導が行いにくい 【生活面】 ○学年間・異学年の交流が不十分になりやすい 【学校運営面】 ○施設・設備の利用面から、学校活動に一定の制約が生じる場合がある ○保護者や地域社会と連携が図りにくい場合がある

小中学校配置最適化について⑥

現在の施設(校舎)の大半は築50年以上

本市の学校施設は、昭和30年代から50年代にかけて建設されたものが多く、老朽化が進む校舎については平成11年以降、順次改築が行われています。しかし、**築50年以上経過した校舎が依然として多数残っています。**

なお、耐震補強工事を平成8年から24年にかけて実施し、現在は校舎・体育館ともに耐震化率100%を達成しています。

小学校		校舎 建築年度	小学校		校舎 建築年度	中学校		校舎 建築年度
1	芦城小	H22	13	符津小	S43	1	芦城中	H11
2	稚松小	S37	14	栗津小	S42	2	丸内中	H21
3	安宅小	H24	15	木場小	S47	3	松陽中	S41
4	犬丸小	S40	16	矢田野小	S46	4	御幸中	H24
5	荒屋小	S40	17	月津小	S43	5	南部中	H17
6	第一小	H24	18	那谷小	S46	6	国府中	S46
7	苗代小	S43	19	国府小	S35	7	中海中	S52
8	蓮代寺小	S44	20	中海小	S45	8	安宅中	S52
9	向本折小	S40	21	東陵小	S49	9	板津中	S58
10	今江小	S40	22	能美小	S53			
11	串小	S42	義務教育学校 (前期課程)		建築年度	義務教育学校 (後期課程)		建築年度
12	日末小	H17	1	松東みどり 学園	R2統合 (S41)	1	松東みどり 学園	R2統合 (S41)

大規模改修・修繕費の状況(令和4年度～6年度)

単位: 万円

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	計
小学校	59,675	29,861	19,190	108,726
中学校	57,760	30,952	10,096	98,808
計	117,435	60,813	29,286	207,534

小中学校配置最適化について⑦

将来の教育環境に向けて、学校の在り方を考えるとき

小規模校が大半をしめ、学びの環境が変化

児童生徒数の減少により、小規模校が増え、きめ細かな指導や地域との連携などのメリットもある一方で、多様な意見にふれる機会や集団での学び、部活動・行事の幅が限られるといった課題があります。

また、現在、築50年以上の校舎が大半を占めており、老朽化が進む中、現在の教育環境に十分対応できていない施設も多く見られます。

将来を見据えて、今後の学校の在り方を検討するとき

児童生徒数の減少や施設の老朽化など、さまざまな課題がある中で、すべての子どもに安全で快適、かつ質の高い教育環境を維持していくことが求められています。

そのためには、子どもたちの学びの場を守り、未来の教育環境をより良いものにしていくために、今後の学校の在り方を検討し、将来を見据えた準備を進める必要があります。

これからの学校について、市民の皆さんのご意見を伺います

こうした背景のもと、保護者、市民、教職員向けに学校の在り方に関する考えやニーズを把握することを目的にアンケート調査を実施し、その結果を今後の学校づくりを検討するための資料として活用します。

小中学校配置最適化について⑧

アンケート

【対象】

- ◎小中学校児童・生徒の保護者
- ◎18歳以上の市民3,000人(無作為)
- ◎小中学校教員

【調査方法】

電子アンケート(こまつ電子サービスフォーム)

【実施時期】

8月

【アンケート項目 全7～8問 選択式+自由記述】

- ◎基本情報
- ◎学校と地域との関係
- ◎学校の規模
- ◎通学区域
- ◎学校の多機能性
- ◎学校の教育教育環境における満足度
- ◎学校最適化の必要性
- ◎自由記載

※9月に回答とりまとめ

スケジュール

令和7年度の取り組み

8月

- ・本市が目指す「これからの学校像」の検討
 - ↳適正規模・適正配置基本方針策定準備
 - ↳市が目指す教育
- ・アンケート実施

9月

- ・アンケート集計・分析
- ・適正規模・適正配置基本方針とりまとめ

2月

- ・パブリックコメント募集・公表

3月

- ・「基本方針」策定

令和8年度以降

- ・個別具体的な最適化計画を検討、策定
- ・対象校での地域への説明会